

令和 6 年度 政策討論会 第一分科会（第 4 回）要点記録

- ・ 日時 令和 6 年 10 月 15 日（火）
- ・ 場所 第 2 委員会室
- ・ 会議時間 10：00～11：00
- ・ 出席者 昼馬 光一（座長）
岩崎 雅秋（副座長）
橘川 亜紀
高比良 正明
烏野 隆生
西田 武史
松本 妙子
岸田 厚（座長、副座長以下は議席番号順）

テーマ；観光資源を活用した観光客の取り込みについて

1、内容

観光資源を活用している他市の先進事例を持ち寄り話し合いを行った。

2、各議員の発言要旨

- ・ 他市の先進事例として、豊岡市観光公式サイトでは、市内の観光施設に対して大変見やすい構成で作られており、日帰り観光から宿泊観光までパターン例示を織り交ぜながら、初めて現地に訪れる観光客も見やすく、興味をひかせる提案を行っている。本市でも、もっと PR の手法を考えるべきである。もう一つが「城びと」と言うホームページで全国のお城を活用した取組で特徴のあるものをピックアップされている。城泊や城キャンプなど、今後全国的に城泊の推進が予想されることから、本市も前向きに取り組んでいくべきである。（西田議員）
- ・ お城の周りを活用して観光客を集める。また、福岡の中洲のように食べるところで集めてはどうか。（烏野議員）
- ・ お城を利用し例えば以前、根来衆鉄砲隊の演武を二の丸公園でしたが、「だんじり」と言うよりも城を中心に常時何らかのイベントを開催し観光客を集めればよいと思う。（岩崎副座長）
- ・ 名古屋城では、公式にも春夏秋冬と桜、菊花、つばきの展示などだけでも計 7 回「まつり」が開催されており、大型マーケットイベント、音楽コンサートが城内で行われ、有料企画として AKB のようなアイドルグループが集まる「HEROINES FES in 名古屋城」などが、二の丸広場特設ステージで行われている。これは、常態的に行われることで、どこ

にステージを組み、出店テント、キッチンカーなどをどこに設置するか設計図が確定しているので、イベントを行う側としても使いやすくなっている。岸和田城の城内では広さがないので難しいかもしれないとしても、二の丸広場にステージを組むなどは可能と考える。そのような利用ができるとイベントに知られれば、利用申し込みも来ると考えられる。（高比良議員）

- ・岸和田はアピールが不十分である。アピールの上手く出来ている先進事例を参考に、まずそこからスタートさせてはどうか。お城のイベントなど、1年を通じて行える行事も充実させるべき。例えば、お城ウェディングなども工夫してはどうか。南海浪切ホールなどの活用など、コンサートやイベントにも協力してはと考える。（松本議員）
- ・前回の討論会では、本市の観光の目玉はやはりだんじり祭であり、これをさらに活用することが重要であること。また、祭り以外の期間における観光資源の充実が大きな課題であるという意見がでた。これを踏まえ、今回は他市の事例を2つ紹介する。1点目は、青森市がねぶた祭の期間中に開設しているサマーキャンプ場である。毎年8月に行われる「青森ねぶた祭」を多くの人に楽しんでもらうため、普段使われていない市有地の一部を整備し祭りの開催時期中に臨時で開設している。これにより、全国からライダーやサイクリスト、バックパッカーなど、祭りを楽しむために多くの人々が集まっている。こうした人々が事前に観光名所やグルメを調べて早めに来たり、ゆっくり滞在する傾向もあることから、岸和田市においても同様の取組が、本市の文化や観光スポットを知ってもらう良い機会になると考える。2点目は、ガストロノミーツーリズムの強化である。日本人観光客の消費が減少し続ける一方で、外国人観光客の数は増加しており、特に訪日客が関心を寄せるのは日本食である。この取組は、地産地消を推進する持続可能な観光コンテンツとして注目されている。本市は、農業産出額や漁獲量が府内トップを誇り、酒蔵もある「食」に強い地域であるが、その魅力を十分に活かし切れていない。低予算で既存の資源を活用できる事業として、本市にも適している内容であると考え。（橘川議員）
- ・2つ先進事例をあげる。①愛媛県大洲市 古民家を活用したホテル ②兵庫県洲本市 高級魚のせり体験 塩づくり・瓦づくり 漁師体験等（昼馬座長）
- ・他市の話を聞いてとりいれられるものは城とイベント（岸田議員）

3、次回の予定

日時：11月22日（金）10時～

場所：第2理事者控室

内容：まとめに向けての方向性を話し合う。